

■ 地方創生推進交付金事業の平成 29 年度実績及び紀北町地方創生会議委員の意見

■地方創生推進交付金事業 平成 29 年度実績、KPI 達成状況及び紀北町地方創生会議委員の意見

【単独事業分】

No.	事業名	実績額（円）	事業概要	K P I (重要業績評価指標)	目標 年月	実 績	達成 状況	今後の 取組方針	紀北町地方創生会議 委員の意見
1	地域商社/DMO 設立に向けた「紀北もん」ブランド推進事業 所管：商工観光課	4,800,000 (交付金充当額) 2,400,000	<p>紀北町の特徴ある高品質な地域食材の多くは、季節商品であること、収量が少ない、適切な価格がつかないこと等から、ほとんどが町内で消費され、域外へは流通していないのが現状です。これを域外の市場に付加価値をつけて流通させていくことが、町内の経済の活性化に繋がります。しかしながら、地域産品の市場はいずれをとっても供給過多であり、地域の特性が理解されないままに一律に取り扱われています。それを脱するためには地域の特性を理解してくれている中規模の市場を自ら新たに創造する必要があることが指摘されています。</p> <p>そのために平成 30 年度を目途に「紀北町版地域商社」の設立を目指します。「新たな市場の創造」こそが、地域の個社単体では実現できないことであり、地域商社という事業価値と社会価値の双方を最大化することを目指す事業体こそが担うべき役割です。地域商社事業の推進主体は、地域資源の販路開拓の司令塔として、東名阪などの消費地のみならず、海外市場も視野に入れ、有望な地域資源の生産者や事業者と連携しながら高付加価値商材を展開、その収益を地域や生産者に還元していきます。そのことを通じて、町内に新たな経済と雇用を生み出すことを目指します。</p>	<p>KPI① 地域商社/DMO の設立に伴う水産卸売業の紀北もん付加価値額の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 5,000 千円 → H29 増加分 0 千円 H30 増加分 100,000 千円 H31 増加分 20,000 千円 <p>KPI② 地域商社/DMO の設立に伴う農業・林業・宿泊業の紀北もん付加価値額の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 0 千円 → H29 増加分 0 千円 H30 増加分 20,000 千円 H31 増加分 40,000 千円 <p>【KPI①及び②の数値根拠】 RESAS データの活用： (営業利益+人件費+減価償却費)</p> <p>KPI③ 地域商社/DMO の設立に伴う新規雇用の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 0 人 → H29 増加分 0 人 H30 増加分 4 人 H31 増加分 1 人 	H32. 3 月	<p>【実施内容】</p> <p>1. 「紀北もん」町内環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 紀北町ブランド推進協議会設立 (H30.1.25) (2) 地域商社/DMO 「紀北もん」設立関連専門家招聘費用 ・紀北町ブランド推進協議会セミナー「地域ブランドの構築とその流通」の実施 (3) インナー強化啓蒙事業 ・紀北町産品の首都圏 PR に係る事前講演会の実施 <p>2. 「紀北もん」対外発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 試食販売会や商談会への出展費用 (2) 渉外活動費 ・紀北町産品の首都圏 PR 及びマーケティング調査 →消費地における紀北町水産品を中心とした地域産品の認知拡大及び島勝浦産の天然鰯を「百年鰯」として、ブランディング仮設立案と仮設検証を行った。 (株)フーディソンの東京中目黒のサカナバッカ店舗フェアを核として実施 <p>【K P I 実績】 H29 年度は地域商社/DMO の立ち上げ前であり、KPI の実績は無し</p>	—	H29 年度は、KPI の実績はなく、未記載とする。	<p>「紀北もんブランド推進事業」については、これまで継続して事業を実施してきており、手応えを感じているのであれば、どんどん進めていただき、最終的にそれが会社（地域商社）になっていったというのが理想である。</p> <p>会社ができるまでは動かないという事ではなく取っ掛かりとして「紀北もん」を関係者の名刺の肩書に付ける等を行い、紀北もんブランドについては、基準を設けて町がきちんと認定をしていく仕組みを作ってほしい。</p> <p>前向きな考えでぜひとも進めてほしい。やってきた事が生きてくると思います。</p>

【連携事業分】

No.	事業名	実績額 (円)	事業概要	KPI (重要業績評価指標)	目標 年月	実績	達成 状況	今後の取組方針	紀北町地方創生会議 委員の意見
2	子育てしたい・しやすいまちづくりによる移住促進事業 連携市町： 5市町 (尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町、紀北町) 所管： 生涯学習課、福祉保健課、企画課	10,393,732 (交付金充当額) 5,196,866	豊かな自然と伝統・文化に恵まれた環境の中で、幼少期からの食育の推進や健康増進、保育所と地域とのふれあい事業等、特色のある子育て環境に向けての取組みを進めます。 加えて、子どもの居場所づくりや優れた芸術や文化に触れる機会の提供、体力増進のためのスポーツ講座の充実を図り、子育て世代の都市部移住希望者に情報発信をすることにより、当地域への移住の促進を図ります。	KPI① 移住に係る行政窓口(空き家の情報提供や移住体験などを担当する各市町の定住移住関連担当窓口)を活用した東紀州地域への移住者数 ・現状値 6人 → H29 目標値 7人 H30 目標値 7人 H31 目標値 8人 KPI② 移住相談会への参加回数 ・現状値 1回 → H29 目標値 4回 H30 目標値 4回 H31 目標値 4回 KPI③ 子育て支援施設の利用人数 ・現状値 228人 → H29 目標値 230人 H30 目標値 230人 H31 目標値 230人	H32. 3月	【実施内容】 〈ソフト事業〉 ①子どもの健康増進事業 (1) 講演会等委託料 ・子育て、スポーツ講演会 (2) スポーツ大会・教室等報償費 ・ユニカール大会、離乳食教室、フッ素塗布事業等の実施 ②ふれあい体験事業 (1) 読み聞かせボランティアの実施 ・児童図書購入 (2) 地域と園児のふれあい事業補助金 ・民間保育所が行う地域と園児との交流事業への補助 ④子ども向け自主文化事業 (1) アカベラコンサート・サイエンスマジックショーの実施 ⑤都市部におけるPR活動等 (1) 移住交流促進PR冊子・ホームページ作成 (2) 首都圏での移住PR出展料 〈ハード事業〉 ③子どもの居場所づくり事業 (1) 児童公園への遊具設置 ・滑り台2ヶ所、ブランコ修繕 【KPI実績】 ・KPI① <u>12人(O)</u> ・KPI② <u>7回(O)</u> ・KPI③ <u>184人(X)</u>	△	KPI3項目のうち、KPI③子育て支援施設の利用人数について、実績数値が目標値を下回っている状況である。これは未就学児の保育利用者が増加してきているのが理由と考えられる。今後は、幼稚園や保育園を利用していない子育て世帯が確実に漏れなく、子育て支援施設を利用できるように、WEBサイト(きほくファミラボ)や広報活動による周知に注力をしていく。	一時預かり事業所や放課後児童クラブ等の子育て関連施設の実施箇所や実施状況等の情報は、知っている人が少ないのではという懸念があるので、知りたい人に伝わるよう周知に努めてほしい。 また、様々な子育て・移住関連事業を実施しており、良い取り組みであると思うが、例えば、移住促進について、婦人会や女性会議等の女性団体が主となって、紀北町から出ていった息子さん、娘さん、お孫さん、若しくは町外で育ったけど紀北町に帰ってきたがっている、紀北町に來たがっている人の間を取り持つような取り組みができないか。

【連携事業分】

No.	事業名	実績額 (円)	事業概要	K P I (重要業績評価指標)	目標 年月	実績	達成 状況	今後の取組 方針	紀北町地方創生会議 委員の意見
3	<p>「世界遺産」「地域産業」を活用した観光DMO推進事業</p> <p>連携：三重県・5市町（尾鷲市、熊野市、御浜町、紀宝町、紀北町）</p> <p>実施主体：東紀州地域振興公社</p> <p>所管：商工観光課、企画課</p>	<p>2,836,795</p> <p>(交付金充当額)</p> <p>1,331,660</p>	<p>自然豊かな観光資源が豊富な魅力ある東紀州地域へ、国内はもとより外国人観光客を誘客し、特産品の購買等この地域での消費のしくみを構築推進するため、共通のコンセプトのもと観光客のニーズ分析に基づいたマーケティングと地域の関係団体との連携を担うDMOの立ち上げを目指します。合わせて、DMOにより企画販売した商品等の受け皿を5市町が担って行くことを目指していきます。そして、その目的のために、訪日外国人旅行者向けの母国での情報発信、訪日外国人旅行者に受入れ環境整備や、東紀州5市町三重県官民協同による海外セールスを積極的に行い、この地域への誘客に繋げていきます。</p>	<p>KPI① 東紀州地域における観光消費額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 46,423 百万円 → H29 増加分 100 百万円 H30 増加分 100 百万円 H31 増加分 100 百万円 <p>KPI② 地域別観光入込客数（千人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 1,811 千人 → H29 増加分 39 千人 H30 増加分 40 千人 H31 増加分 50 千人 <p>KPI③ 伊勢志摩・東紀州立ち寄り率・伊勢志摩→東紀州</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状値 5.1% → H29 増加分 0.11% H30 増加分 0.10% H31 増加分 0.20% <p>【数値根拠】 「観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査報告書」（三重県発行）</p>	H32. 3	<p>【実施内容】</p> <p>①東紀州地域内での観光DMO設立に向けた専門的な人材育成、データ収集分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光DMO勉強会開催（10月、11月） ・訪日外国人旅行者動態分析（7～3月） <p>②訪日外国人旅行者向け情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾大商談会への参加 ・関西インフォメーションセンター東紀州PR展の開催 <p>③外国人ビジターセンター開設も含めた訪日外国人旅行者受入れの為の環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクセスガイド冊子制作（日本語5千部・英語5千部）中部・関空に配布 ・訪日外国人との会話支援ツール購入 →宿泊施設での指差しシート <p>④東紀州地域5市町三重県官民協同による海外セールスによる誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オール関西台湾大商談会への参加 ・三重県、東紀州5市町による台湾協同セールスの実施 ・招聘ツアーの実施 <p>【KPI実績】</p> <p>KPI① <u>+8,289 百万円 (○)</u> (46,423 百万円→54,712 百万円)</p> <p>KPI② <u>+285 千人 (○)</u> (1,811 千人→2,096 千人)</p> <p>KPI③ <u>+0.8% (○)</u> (5.1%→5.9%)</p>	○	—	<p>インバウンド対策で、例えば、町内の案内看板を変えていく、英語表記、中国語表記をしようとか、トイレマークをしっかりと掲示するなど、来てくれる人達に対してまちがどう受け入れるか、その事がまちの人達に対しても有益になるような誘導の仕方もあるのではないかな。</p> <p>また、外国人向けのガイドマップや外国人との会話ツール等も作成しているが、外国人に泊まってもらう体験ツアー等を企画、実施することにより、実際に外国人を泊めてみたら、こんな感じでいいのかっていうのが民宿の人達も理解できると思う。そういう経験をすれば、次からすごく外国人に対して気楽に接する事ができると思うので、KPIは達成しているが、今回の会議の様々な意見を受けて、今後活かしていきたい。</p>